

里山・森づくりと連携する持続可能な木質バイオマス利活用(イメージ)

(発生) 里山・森づくり等の森林整備事業の展開に伴い、森林系バイオマスが発生

千葉の里山・森づくり
プロジェクト

森林吸収源対策
間伐促進

里山総合
保全整備

サンブスギブ
ランド化推進

放置竹林拡大
防止対策

(再資源化) 収集 運搬 一次処理 “森林系バイオマス流通システム”の構築

森林整備事業と連携しながら集約的に収集・運搬、一次処理(チップ化、ペレット化、粉体化)を行い、
需用に応じて安定した原料供給を担っていく「森林バイオマス流通事業体」の創設と育成が課題

“社会的企業”として組織化(森林組合、リサイクル業者(収集運搬、中間処理)などから構成)

マテリアル利用

バイオマスプラスチック化等

森林系バイオマスの木質プラスチック化やファインケミカルへの利用。原料となる被害材、間伐材、竹の生チップ又はおが粉は有価で購入。

木質プラスチックは、県内外のプラスチック成形(押出・射出)メーカー等へと幅広く供給し、石油プラスチック代替のバイオマス素材として販路を拡大する。

(製品例)

植木ポット、玩具、文具、建材、食器など

マテリアル製品化

既存の木質バイオマス産業の育成と、新規な木質製品を開発。地域資源を使った地場製品として地域販売。原料は有価で購入。

畜産用の良質なおが粉を安定供給するシステムづくり。
地域資源を活用するエコ商品の開発と企業と連携した地域販売の推進。

(製品例)

敷料、木製品(食器、紙、雑貨)など

エネルギー利用

バイオマス発電・熱利用等

低質な森林系バイオマスは、固形燃料(燃料用チップ・ペレット)として、バイオマス発電やボイラー燃料として利用。原料は有価で購入。
将来的には、バイオエタノール化も検討。

バイオマス発電事業者、熱供給事業者などの大口需要者との連携。公共施設や農業用利用への仕組みづくり。

(利用先)

発電・熱利用企業等、農業用(施設園芸)など